



# 7がつのほけんだより

令和6年度 7月 江上保育園 ほけんだより



## 夏に多い感染症に注意しましょう



### ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み、特にのどは、水ぶくれができるため飲食ができなくなることもあります。のどの痛みを伝えられない子は、機嫌が悪かったり飲食できなかったりなどのサインに気をつけましょう。



### 咽頭結膜熱（プール熱）

高熱とのどの痛み、目（結膜）の充血、目やにの症状がみられます。感染力が強い為、タオルなどの共有は厳禁です。症状が落ち着いてから2日以上たてば登園可能です。



### 伝染性膿痂疹（とびひ）

すり傷や虫刺され、あせも、湿疹などの傷口に細菌が入り、水ぶくれができます。かき壊して、水ぶくれをつぶした手で他の場所を搔くと、そこにまた水ぶくれができてしまいます。



### 手足口病

手のひら・足の裏・口の中に水ぶくれができ、発熱を伴うことがあります。（お尻や肘、膝にできる事もある）口の中にできるとよだれが増え、飲食ができなくなることもあります。



### 流行性角結膜炎（はやり目）

流涙、目（結膜）の充血、目やにの症状が見られます。発熱を伴うこともあります。幼児の場合、目に膜が張ることもあります。感染力が強い為、タオルなどの共有は厳禁です。医師により伝染の恐れがないと認められるまで登園禁止です。



6月に歯科健診がありました。大きくお口を開けて見せてくれる子や、ドキドキして泣いてしまう子どもさんの姿もありました。

以前に比べ、虫歯のある子どもさんが減ってきていると、歯科医の豊田先生が話してくれました。保護者の方の、歯への関心が高くなってきているのでしょうかとのことでした。子どもだけでは、まだ十分に歯みがきができない為、仕上げみがきを大切に。今回の歯科健診で虫歯があったお子さんは、早めの歯科受診をお願いします。乳歯だからと放っておくと、永久歯に影響を与えることもあります。これからも、子ども達の歯の健康を守っていきましょう。



### 虫よけ剤について

虫よけ剤の中に、ディートという成分が含まれる場合は、  
顔には使用しない、  
6ヶ月未満の乳児には使用しない、  
6ヶ月～2歳未満は1日1回、  
2歳以上12歳未満は1日1～3回までと使用が制限されています。  
イカリジンという成分は年齢の使用制限はありませんが、ディート同様、目に入れたり、飲んだり、なめさせないようにします。使用上の注意をよく読んで使用しましょう。

